

# 令和3年度事業報告書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人 桂の泉

## 令和3年度事業報告書

法人を設立して14年、学園を設立して13年を迎えた。

当年度は31名の利用者でスタートした。年度当初に支援学校高等部新卒業の新規利用者2名が通所を開始した。また、年度途中で以前の利用者で他府県に転居していた方1名が京都に戻ったのを機に復帰した。

利用者1名が体調不良で療養中に持病（難病）による身体障害が悪化し、退所となった。また1名の利用者が生活の乱れ（アルコール依存）により、更にもう1名が精神的不調により退所した。退所者は計3名であった。

当年度も長期欠席の利用者と新型コロナウイルス緊急事態宣言下での一時的に通所自粛された利用者が複数おられ、出席率の低下につながった。

学園内で新型コロナウイルス感染者がついに出た（利用者4名、職員3名）。2月15日から2月28日まで臨時休業とした。

### 1. 令和3年度の法人運営

#### (1) 福祉事業活動について

障害福祉サービス費（訓練等給付費）（京都府国保連）

45,379,908 円  
(前年比 104.3%)

#### (2) 社会福祉充実計画について

社会福祉充実計画に基づいて、グループホームの開設準備に向けた調査検討を継続した。

### 2. 令和3年度の桂の泉学園の運営

#### (1) 利用者状況について

・利用者数 34名

新規通所者2名、復帰通所者1名、退所者3名

・3/31 現在（利用者31名）の障害内訳（手帳上の内訳）重複1名は計上せず。

知的障害 29名

身体障害 1名

精神障害 1名

・出席率 79.0%

#### (2) 利用者支援について

・就労支援事業について

収入 7,888,492 円  
(前年比 111.6%)

京都市就労継続支援 B 型工賃補償補助金

514,835 円  
総収入 8,403,327 円  
(前年比 104.0%)

#### a.喫茶部門

売り上げは新型コロナウイルスの影響で、観光客の減少と臨時休業(2/15~2/28)もあったが、他施設の貸し切り営業等もあり売り上げはアップした。

収入額 2,186,485 円  
(前年比 110.2%)

b.下請け部門

原材料費が必要ないため作業量の分だけ利益があることが利点である。利用者の障害特性に合わせた作業内容を組むことができ、誰でも参加できる。昨年度より売り上げはアップしたが、一昨年度の額には戻っていない。

収入額 4,077,507 円  
(前年比 118.5%)

c.自主製品部門

縫製製品作りを中心に作業している。曜日を固定して「山吹」にて作業を行っている。ミシンの作業は集中力の持続と器用さが必要で、従事できる利用者は少ない。今後も新たな製品開発や生産量を増やすことが課題である。昨年度同様布製マスクを制作販売が好調であった。

収入額 158,000 円  
(前年比 102.5%)

d.出張清掃部門

京都市上下水道局の鳥羽水環境保全センターと京都市消防局消防学校管理の公園を週に各2回の計4回作業を行っている。他の部門と比較しても収益率は高い。ただ、屋外での作業で季節によっては労働環境は過酷であり、従事する利用者はどうしても限られてしまう。

収入額 1,466,500 円  
(前年比 98.5%)

- ・工賃支払総額（ボーナスを含む、年度単位の報酬） 5, 896, 110 円  
(前年比 104.7%)

一人あたりの平均工賃月額 14, 852 円 (昨年度は 15, 134 円)  
※長期欠席者を除いた平均工賃は 16, 424 円

- ・年間開所日数 235 日 出席率 79.0% (前年度は 81.0%)

・土曜開所

計 5 回開催 延べ 72 名参加 平均参加利用者数 14.4 名  
(昨年度は計 6 回開所 延べ 87 名参加 平均参加利用者数 14.5 名)

(3) 職員体制について

正職員 6 名 (11 月より 1 名採用、女性職員 2 名は 1 月より産・育  
休中)

嘱託職員 2 名 (1 月より 1 名採用)

パート職員 1 名

その他喫茶担当としてシルバー人材センターより 3 名

常勤 8 名、パート 1 名、派遣 3 名 計 12 名

(4) 安心・安全の確保と防災対策

- ・避難訓練の実施 (2 回)

(5) 利用者獲得のための取り組み等

施設見学者等

- 5/25 元在籍利用者 29 歳男性と家族
- 8/20 西総合支援学校教員 5 名→新型コロナウイルスのため中止
- 9/6,7 同志社大学メディカルワークショップ学生 10 名  
→新型コロナウイルスのため中止
- 9/21 西総合支援学校 3 年生 1 名
- 10/25 近隣他施設職員 1 名見学研修
- 11/11 ボランティア希望女性 1 名
- 11/16 //

・実習生の受け入れ

- 1 8 歳女性（西総合支援学校 3 年生）10/26～11/1

(6) 余暇支援・社会見学活動等について

・京都とっておきの芸術祭への出展

- 1 2 / 2～5 於：みやこめっせ（計 3 名の利用者が絵画を出展）

・実施行事

- ・12/15（水）「伊勢おかげ参り」

秋に予定していた日帰りバス旅行は新型コロナウイルス拡大に伴い中止とした。「伊勢おかげ参り」は緊急事態宣言等の発出期間外で決行した。旅程は貸し切りバスの台数を倍に増やし、一人あたり 2 座席とし、バス会社の感染予防ガイドラインに従って旅行した。

(7) 職員の資質向上、労働環境改善のための取り組み（研修会等の参加）

・職員参加外部研修・会議

- 11/5 改正食品衛生法研修（女性支援員）
- 1/27・28 全国知的障害福祉職員研究大会（オンライン開催）（主任）  
参加予定であった会議・研修会の多くは新型コロナウイルスの影響で中止

(8) 地域の活動への参加、社会貢献活動

- ・京都市福祉避難所事前指定
- ・京都市災害時協力井戸登録
- ・地域のイベント等への参加＝新型コロナウイルスのため中止
- ・桂東学区社会福祉協議会会議・研修会への職員派遣（主任）
- ・近隣の地域密着型サービス事業者の運営会議への参加（施設長）＝中止
- ・加盟団体主催行事への職員派遣＝中止
- ・チャレンジ就労体験事業の受託（地域の生活保護受給者の実習受け入れ）
- ・生き方探求・チャレンジ体験推進事業における地域中学生の受け入れ＝中止
- ・西京安心安全花いっぱい運動への参加
- ・地域の引きこもり青年の受け入れ

#### 4. その他

##### (1) ボランティア

地域の中高齢者を中心に20名(3月末現在)が登録。

##### (2) 新型コロナウイルスの対応について

桂の泉学園では2月に利用者の感染を皮切りに、利用者4名と職員3名が感染し施設は2月15日から28日までの間臨時休業とした(土日を挟み実質は9日間の休業)。小出しの短期間の休業ではなく、一定期間まとまった休業にしたことが功を奏したのか、それ以上の感染拡大はなかった。

##### ○具体的な感染対策等

- ・手洗い(医師による指導を受講)・うがい・手指の消毒の徹底
- ・マスク着用の徹底
- ・来園者全員の検温の実施と体調の聞き取り
- ・園内で3密を避けるような配慮
- ・換気の徹底
- ・二酸化炭素濃度計の主要箇所への設置
- ・デジタル酸素飽和度メーターの導入
- ・食堂に空気清浄機の設置
- ・共用部分の消毒の徹底
- ・昼食の2部制の実施とパーテーションの設置、黙食の指導
- ・朝礼、終礼での注意喚起
- ・文書による通所意思確認  
緊急事態宣言等の発出や延長の度に、ご家族等に通所の自粛等の意思確認を文書にて要請した(計5回)。通所を自粛した利用者は計5名(主にご家族の意向が中心)。ただし、途中で通所を再開する者もあった。
- ・ワクチン接種  
7/7~9/14 かかりつけ医院等でワクチン接種の難しい利用者及び職員計20名を4班に分け2回ずつの接種を、指定協力病院の泉谷病院のご厚意で行う。  
3/10・14 3回目のワクチン接種を同じく指定協力病院の泉谷病院のご厚意で利用者及び職員の計18名を2班に分けて行う。
- ・喫茶いづみのガイドラインを遵守した営業  
(お客様への消毒とマスク着用の依頼、座席を減らしてパーテーションの設置、座席・テーブルのこまめな消毒)